

薫風自南来

折しも雨風うち続いて、
心慌ただしく散り過ぎぬ。
青葉になりゆくまで
よろずにただ心を望み悩ます。

—— 徒然草より

今年は何十年ぶりかで梅雨入りが早く、徒然草の第一九段より「折節の移り変わるこそ」にぴったりの季節になりました。

花の心は気ぜわしく散ってしまいい、ああ美しい青葉になって行く。いよいよ薫風が香る季節と思っているに入梅してしまい、コロナ禍も二年目に入って気苦労ばかりが続きます。

和菓子はこういう四季の移ろいを大切に、花や風物を取り入れ彩り美しく、豊かさと爽やかさに満ちている日本人の心の現れだと思えます。

暦の上では夏。
水わらび餅の箱とかけ紙を作ってみました。これを頂いてコロナ禍を乗り越えましょう。

エックス

— エックス
120g/m²
古紙配合率70%
酒パックなどの紙パック古紙を原料とした薄紙。

ピュアーボード

— ピュアーボード
350g/m²
古紙配合率90%
本の装丁などに好評のカラーボード。
表裏層に牛乳パックなど液体飲料古紙を、中層に一般古紙を使用。



福壽堂秀信 「季菓 水わらび餅」
<https://fukujudo-hidenobu.co.jp/>



DAIWA ITAGAMI

大和板紙株式会社

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5番32号
TEL.072-971-1445 FAX.072-971-1449
E-mail daiwa@ecopaper.gr.jp
<http://www.ecopaper.gr.jp>

資料請求・お問合わせは
左記までお気軽にどうぞ!